

2024年8月2日作成

第1.0版

当院で診療を受けられた患者さん・ご家族様へ  
臨床研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しています。この研究では、普段の診療で得られた情報を使用させていただくものです。この研究のために、新たに診察や検査などを行うことはありません。以下の情報を研究に用いられたいとお考えの患者さんまたはご家族の方は、遠慮なくお申し出ください。お申し出いただいた患者さんの情報は使用いたしません。また、研究への参加にご協力いただけない場合でも、患者さんに不利益が生じることは一切ありません。

子宮頸癌に対する広汎子宮全摘出術後の排尿障害に関する後方視的検討

1. 対象となる患者さん

2010年1月～2024年7月の間に当院で子宮頸癌に対する広汎子宮全摘出術を受けられた患者さん

2. 研究責任者

奈良県立医科大学附属病院 泌尿器科 橋 進彰

3. 研究の目的と意義

子宮頸癌に対する治療として、腫瘍が子宮頸部に限局している場合は主に手術療法が行われます。しかし、この術式では骨盤内の自律神経損傷のため、しばしば排尿、排便、性功能などが障害され、術後のQOLが低下するという問題があります。

この研究は、カルテ情報を解析し、術後に排尿障害となる割合や要因を明らかにすることを目的としています。どのような患者さんで排尿障害となるリスクが高いのかが明らかになれば、術前の時点で患者さんに合併症のリスクをより明確に説明できる可能性があると考えます。

4. 研究の方法

5. に示す情報を対象の患者さんのカルテから収集し、広汎子宮全摘出術における排尿障害の割合やリスクを算出します。

5. 使用する情報

診療情報：診断名・年齢・性別・身長体重・既往歴、投薬内容、血液検査結果、CT画像、

治療内容、排尿管理について

**6. 情報の管理責任者**

奈良県立医科大学 学長

**7. 研究期間**

研究機関長の実施許可日～2029年3月31日

**8. 個人情報の取り扱い**

対象となる患者さんの個人情報は厳重に管理し、利用する情報等からはお名前や住所等、個人を特定できる情報は削除し、研究番号に置き換えて使用します。また、研究成果を学会や学術誌等で公表する際も個人を特定する情報は公表しません。

**9. お問い合わせ先**

奈良県立医科大学附属病院 泌尿器科 橘 進彰

住所：奈良県橿原市四条町 840 番地

電話：0744-22-3051

e-mail：k124493@naramed-u.ac.jp